

新潟県

公民館月報

昭和57年10月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川崎町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟 (0252) 24-6073】【振替新潟 4049】

発行人 会長 石井 耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 100円 年共・年価 1,200円】



満願寺のはさ木

市街地を抜ける
と一直線の農道が
満願寺部落に続い
ている。

その間約五百米
の間、道路の両側
に千本余りのはさ
木が、ほとんどの昔
のままの姿をとど
めている。

近頃、時代の波
におしつぶされ、かつては
蒲原平野の風物詩であった
はさ木が、つぎつぎと消え
てなくなった。

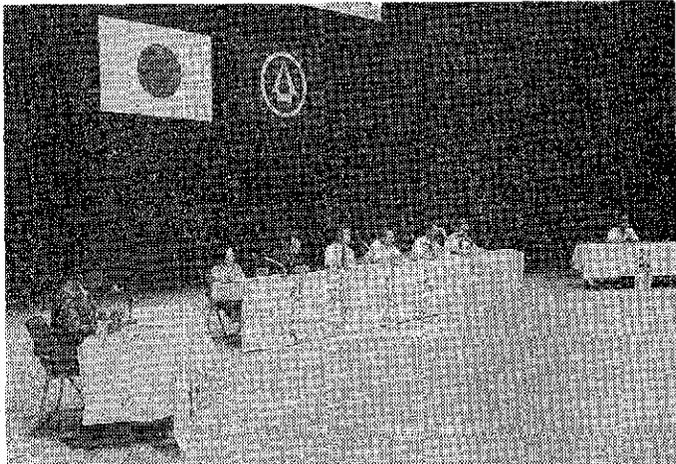
子どもの頃、農家生まれ
の小生など、蛙のなく頃見
た新緑のはさ木、晩秋のと
り入れ頃、はさ木越しに見
た真赤な夕日の美しさが、
今年も新鮮なおどろきとな
って、胸によみがえる。

そのはさ木が、今の農家
では次第に不要なものとな
り、さればとて庭木にも用
材にもなり得ぬはさ木の運
命はわびしい限りだ。

だが一米の等間隔に千本
も並ぶと、すばらしいリズム
の美しさとなって眺める
人たちに迫ってくる。

このはさ木たちよ、今ま
での務めは終わったが新しい
価値に目覚めていつまでも
生き続けてほしい。

絵・文 元新潟市社会教育
指導員 江口 正巳



会場の意見も交え、熱心に討議されたパネル

大会参加寸感

吉田直平

公民館活動の原動力に立ち帰って、社会教育のあり方とその役割を討議する大会に参加でき、公民館の重要性を改めて痛感いたしました。

六名のパネラーの発言による「行政施設改善の具体策について」は、それぞれの立場や、各分野別に考えられ、真剣に語り合

んでいられた姿を拝見して底知れぬ力強さを感じました。

各口頭討議の熱弁には特に感銘を

受けてきました。爽やかな現代社会で最も不足しているものは、郷土愛である。「物を大切に、友人を大切に、日々大切に、感謝と生きるまごころ」は、社会教育でなければならぬと断言し、このことが公民館活動のめざすものであると語られました。今後の生涯教育の体制整備に積極的な生かして行きたいと考えます。

（加治川村公民館連合審議会委員）

県公民館大会パネル討議要旨

—公民館をめぐる関係行政施設改善の具体策について—

司会 駒形 正明

テレビ新潟アナウンサー

1. 藤田シヅエ (利用者代表、巻町婦人会)

- ・新しく建設する場合、利用者の声を反響させてほしい。
- ・利用者側と施工者側との懇談会を行うことにより、側と住民とのつながりが生まれ、使いよさのヒントも得ることができる。
- ・利用の広域化を望む。
- ・公認されている社教団体には、利用料免除を。
- ・地区公民館の整備と指導者の確保管理面だけの配置でなく、指導のできる職員配置を。

2. 渡辺真一 (職員代表、安塚町公民館長)

- ・人的体制の確保
- ・法27条に位置づけられ、34年文部省通達により基準が示されているにもかかわらず、専任職として任用補助物的体制の活用援助
- ・物的体制だけでなく、中味を考えたものに。
- ・財政措置の改善

3. 徳間助夫 (コミュニティ施設代表)

徳間助夫 (コミュニティ施設代表)

柏崎市中央公民館事務長)

コミュニティと公民館

- ・事業……コミュニティ意識を高め、コミュニティづくりを促進する公民館に。
- ・施設・設備……住民をむすぶ公民館
- ・人材……人材の発掘と養成、活用に取り組む公民館

4. 甲田敏郎 (研究者代表)

- ・公民館は、人であり、物であり、金である。
- ・住民の身近な施設に、理想は小学校区ごとに。

5. 鬼嶋正之 (市町村理事者代表)

- ・地方教育委員会を廃止し、市町村行政の直轄としたらどうか。
- ・一般施設との関連から、教育施設が一歩さがった構えでいる。
- ・社会教育主事制度の確立
- ・住民を主人公とした事業。学社との職員交流及び、市町村間の人事交流の制度化
- ・地域課題を掘り起こす手はずを。
- ・実益のないう工夫
- ・行政の意向を反響できるのは公民館だけ。

6. 井上明俊 (行政の立場から、県社会教育課長)

井上明俊 (行政の立場から、県社会教育課長)

- ・学校教育は100%が経験している、社会教育はそれがいいことと、予算の割に幅が広い。
- ・学級、講座の内容に工夫を。一流の味になれているため、内容を充実し、公民館に向けさせる努力が必要。
- ・各種行政のリーダーシップを公民館が……。
- ・そのために教育の情報は、すべて公民館に集める体制づくりを。

質屋

- ・小国町集めるから、届ける学習についても具体的に説明を。

徳間助夫

- ・意志さえあれば、集まらなくても学習できる時代
- ・住民が参加しやすい方法を、住民とともに考える必要がある。小集団の連合グループ方式

鬼嶋正之

- ・任意志向カードへの登録によって、参加を呼びかける手法。
- ・人的問題は悩みが大きい。
- ・今の体制を最大限に發揮させるための資質向上、協力できる部分は、一般行政職員とも共同歩調で。

(記録・石添義克)

今あるもので

まず実績をあげよ

さる八月二十七日、巻町公民館で開催された第三十三回県公民館大会のパネル討議に登壇された田中敏郎先生の隣りに座ることを許されたのは光栄であった。

田中先生は私が公民館職員としてかけ出しの頃、県教育庁社会教育課におられた。公民館職員としての十五なる大切なことを教えてくださった方であり、私にとって恩師でもあり大先輩なのである。

公民館番頭日記 (18)

この甲田先生のパネル討議での発言の中に「六無有公民館」という言葉があったが、私にとって久しぶりに聞くような言葉であった。

施設もなく、設備もなしのものも殆どなく、予算もきわめて少なかった。高いなないついでであったが、公民館に対する当時の職員

の認識を象徴する言葉であった。等々なのである。

柏崎市では現在の中央公民館が開いた「何せイタクを言

が竣工して今年で満十周年になるが、僅か十年前の公民館の施設・設備、予算のことなど思うと全く今昔の感があるのである。

（柏崎市中央公民館 参事兼事務長 徳間助夫）

雨の長期発展計画によって毎

ひと昔前の公民館のことを思ふと今昔の感のする柏崎市の公民館の昨今だが、「人間の欲望には限りがない」という言葉があるように、施設・設備が整備されればそれだけ、諸業団体をもっと広く……。

講堂にラテン語を……。テニスコートに夜間照明を……。テニスコートの早朝利用者のための扉外トイレを……。

新生公民館繁盛盛記

(23)

公民館は花ざかり、これまでですのに三十館の公民館が登場。好評をいただいています。これからもう少しご紹介いたします。

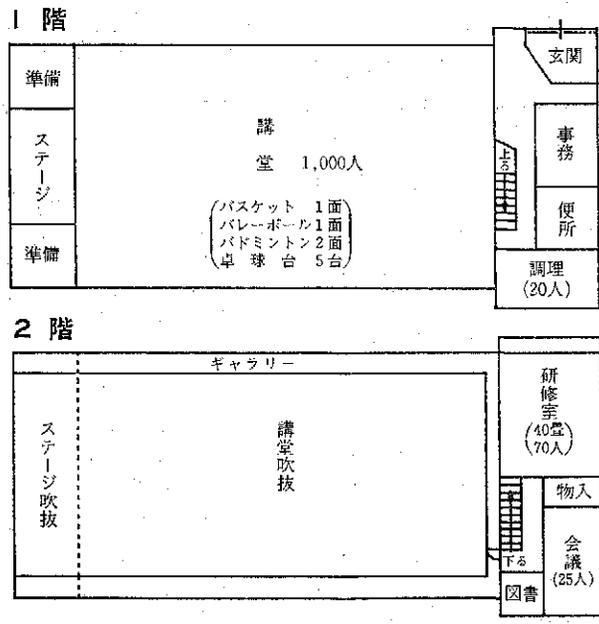
開館半年、好調な出足

めざすは「愛される公民館」



(多目的に利用できる講堂)

構造 鉄骨一部二階建
敷地面積 2,160㎡
建物面積 869.51㎡
工事費……………122,280千円



中川地区に公民館誕生
この四月二日、中川地区に新しく公民館、金塚地区公民館、中川地区公民館が開館しました。場所は、加治川村押廻で、中川小学校公民館がそろうたわけです。この新しい中川地区公民館の敷地面積一ホール大会、村民踊り大

この新しい地区館がオープンして半年、この間、開館を祝って種々の催しや行事が行なわれてきました。地区の益をさつぎ展示会、老人クラブの会合、地区パールの大会、村民踊り大

今後の課題
地域住民はもと論、本村全域の

二、一六〇平方米、延床面積八六九・五平方米、総事業費二億五千八百八十九円、施設の特筆される点は、多目的利用可能のすばらしい施設のあることです。近い将来、野球もできるグラウンドの造成も予定されています。

この新しい地区館がオープンして半年、この間、開館を祝って種々の催しや行事が行なわれてきました。地区の益をさつぎ展示会、老人クラブの会合、地区パールの大会、村民踊り大

会、高齢者体力づくり教室、婦人部、若者体力づくり教室、地区住民の定期検診等々、そして中川小学校では毎週火曜日の午後、児童が部活で利用しております。

開館以来九月二十八日現在までの利用者四千八、一日平均二千二人、本村の人口七、四七七人(九月二日現在)、二千二人に満たない中川地区の人口からみれば、まさに、出足好調と申すべきでしょう。高齢者体力づくり教室に参加の方々は、すでに自主的に運営を始めると至りま

住民に、いか多くの地区館を利用してもらえ、それに伴う管理運営面での問題、同時に社会教育の殿堂として、その文化面の深化をいか推進してゆくべきか、これらは、当然一か年経過後の時点反省考慮されるべきことではあるが、現存ひそかにその具体策を模索しているところだ。

愛される公民館をめざして、利用者の方々へ、また、開館して半年、努力して

(加治川村中川地区公民館長 石井常備)

公民館総合補償制度

公民館の実態に応じ、加入の種類は自由です。

A B C D	型 型 型 型	行事傷害 + 賠償責任 + 職員傷害
		行事傷害 + 賠償責任
		行事傷害 + 職員傷害
		行事傷害

上記4種類から自由にお選びください。

中途加入受付中!

- 毎月1日から加入できます。
- 補償期間は5月1日までです。
- 中途加入の掛金は月割計算です。

公民館総合補償制度早わかり表

加入できる公民館

本制度の対象となる公民館は社会教育法第5章に規定される公民館です。ただし町内などの自主運営による「分館」「自治館」などもC型、D型に限り加入することができます。

* 制度	行事傷害補償制度	賠償責任補償制度	職員傷害補償制度
主旨	公民館が主催する各種行事への参加者を無記名包括で対象とする傷害補償制度。	全国市長会、全国町村会が実施の「スポーツ賠償責任保険」に加入していない市町村が設置する公民館のための賠償責任補償制度。	「地方公務員災害補償法」の適用がない公民館職員を記名方式で対象とする傷害補償制度。
対象となる事故	公民館が主催する行事に参加中の者がケガをした場合にそのケガの程度に応じて定額で補償金が支払われる。	公民館の施設や設備、または公民館業務遂行によって公民館利用者や第三者にケガを与えその結果公民館が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合に補償金が支払われる。	公民館職員が公民館業務(通常の出勤、退勤途上を含む)に従事中ケガをした場合にそのケガの程度に応じて定額で補償金が支払われる。
支払われる補償金	行事参加者1名あたり 死亡補償金 350万円 後遺障害補償金(最高) 350万円 入院補償金 1日につき 1,500円 通院補償金 1日につき 1,000円 (入院180日・通院90日を限度とする)	1事故あたり 補償最高限度額 2,000万円 免責金額 なし	加入申込職員1名あたり 死亡補償金 300万円 後遺障害補償金(最高) 300万円 入院補償金 1日につき 3,000円 通院補償金 1日につき 2,000円 (入院180日・通院90日を限度とする)
加入掛金(注)	1公民館につき 33,000円 (注) 公民館数は中央公民館、地区館、分館などの呼称のいかんにかかわらず独立した施設をもつ公民館ごとに1館として計算する。	1公民館につき 4,800円 (注) 公民館数の計算は左記(注)に同じ。	公民館職員1名につき 5,400円

あの頃のこと

文化協会から 公民館へ(2)

問野良知

小須戸町文化協会の動きは、約二十分ばかり発表を行った。はやく注目したのは、眞社会教育課の増井三郎(故人)であった。

公民館の設置促進の中心的指導者として全県下を駆けまわった増井三郎(故人)は、再三にわたって小須戸を訪れ公民館への移行を勧められたのである。しかし私は、たゞ趣旨内容が同じとしても、公民館などという下り式の堅苦しい名称に対する反感からこれを拒否し続けておった。

こんなことがあった。

下越社会教育研究大会で昭和二十二年十一月二十八、九日にわたり新津小学校講堂で開かれた大会が開かれた。

主催が文部省と県で軍政部からも係員が臨席された。

テーマは「公民館の設置について」であったと記憶する。つまり趣旨の徹底と設置促進に真意がこめられたものであった。

この会で、増井三郎を流しての委員で小須戸町文化協会の実状を

約二十分ばかり発表を行った。問題はその結論である。「私は文化協会設立後の二ヶ月を振りかえりまして、公民館そのものは設置されなくとも、その実質的内容を持った社会教育の事業は立派にできるものだという自信を得ました。それには全町民を理解させ動かすところの指導者たち、結束した熱意と努力が必要だと思ひます。以て略」

(発表原稿より)

さあ大へん、公民館設置促進のテーマと反対の意見表明になったのである。纏いての一般参加者の質問や意見は賛否両論で喧々囂々、矢面に立った私は指をのたたりと言ひまゝ一歩もゆまらないでしりました。一番困ったのは県当局であったと思うが、社会教育課長や増井三郎によつて何んとかその場を取捨するにだけはできた。

開会後増井三郎が特私を呼んで、「私も実は小須戸の主張が民主主義の精神から一番正しいと思う。しかし県の立場としてはあくまでも公民館設置へ持つて行か

たり新潟市外ヶ輪小学校で県主催、同社会教育研究大会が開催された。

軍政部からメーン女子、文部省から百福孝吉、県からは八中教育部長が臨席指図された大規模な会であった。

ユネスコ、社会問題(青少年非行化)、生活改善、文化活動の四テーマの部会討論と、公民館設置促進に関する県の指導があった後、県内優良社会教育団体の選定が行われた。これは青年団、婦人会、文化団体の三つに類別し、あらかじめ県の調査による十八個補団体中から予選を通過した九団体の最終順位決定だったのである。

方法は県内各層から選ばれた指定参加者四十三名の投票によるものであった。幸い小須戸町文化協会も候補に入つておいたので私が代表してありのままの素直な発表を、それに対する質疑応答があり、いよいよ投票となったのである。

結果次の通りであった。

第一位(十九票) 佐渡 河原田婦人会
第二位(十七票) 南蒲 大間婦人会
第三位(七票) 中蒲 新潟婦人会
優良文化団体
一位(二十三票) 中蒲 小須戸町文化協会
二位(十票) 西蒲 巻町文化協会
三位(八票) 岩船 村上音楽文化会

こうしてはからずも小須戸は優良文化団体にランクされ、大いに面目をほこしたのである。

たつた。後とも協力してほしい」としみじみ言われたことを今でも忘れることができない。

。最優良文化団体に選定される。昭和二十三年五月五、七日にわ

きみはキリマンジャロの頂上に横たわるといふ凍結した豹の白骨を見たことはいか

歩みつつけることの虚しさを知りつつ死にいたるまで歩みつつけたものの屍をうつす氷塊を見たことはいか

何か欠落していると知って一匹の豹はキリマンジャロをのぼったのではないのか

その終結を美しいと思つたことはないか

(元糸魚川市公民館長・埼玉県越谷市在住)

詩

キリマンジャロの雪

浅間 勝衛

うつつにしがみついて生きようと
するものと
しがみつくところに人生はないと
信ずるものと

きみはキリマンジャロに横たわるといふ凍結した豹の白骨を見たことはいか

歩みつつけることの虚しさを知りつつ死にいたるまで歩みつつけたものの屍をうつす氷塊を見たことはいか

何か欠落していると知って一匹の豹はキリマンジャロをのぼったのではないのか

その終結を美しいと思つたことはないか

(元糸魚川市公民館長・埼玉県越谷市在住)

海抜一九、七一〇フィート
天空につらなる氷雪のうえに獲もの良いがあつたと思うか
神の家、に欠落している何かが見つかったと思うか

。公民館へ移行発足
大会終了後、増井三郎の来町を受けた。そして「この榮譽を機会に是非公民館の名を掲げてほしい。実は今年優良公民館として表彰したいのだ」と切なる要望をいだかれたのである。その熱意にほだされて、私たも今までの抵抗に終止符をたたきざるを得なかった。

昭和二十三年九月、文化協会を発展的解消し、新しく小須戸町公民館に生まれかわつたのである。(前小須戸町公民館長)

第一位(十九票) 佐渡 河原田婦人会
第二位(十七票) 南蒲 大間婦人会
第三位(七票) 中蒲 新潟婦人会
優良文化団体
一位(二十三票) 中蒲 小須戸町文化協会
二位(十票) 西蒲 巻町文化協会
三位(八票) 岩船 村上音楽文化会

こうしてはからずも小須戸は優良文化団体にランクされ、大いに面目をほこしたのである。

毎年八月から十月にかけては大会・研修会等が集中的に開催され、多忙な日程を過ごすことになりませう。

関公連東大会には本県から二十余名が参加し、氣勢を上げましたが、全公連東野研集会以は、いろいろ努力したにもかかわらず参加者は二十名を前を下しませんでした。

関フロ管内では、富山六十四名、石川七十七名、千葉三十九名、山梨三十一名、くらべ、本県参加者の少ないことが、気がかりでした。(本)

あ と が き

